

香川ニュース

第29号

会刊印刷
自治員印
行自委
香川報子
発金
0463 (55) 3721

自治会役員を選出 今年からは組長を中心

三月は、官公庁の年度末、学校では学年末、この頃は一般会社でも三月決算がだいたいおふんのようなので、香川自治会においても、三月は年度末、新旧役員において事務引継ぎが行なわれるのでもあります。

毎年のことながら、この三月は、役員選出に重点がおかれますが、と多く批判を受けることの多い自治会役員の手が、それというのも、香川の人口が急激にふくれあがって、これに伴ってのヤンヤという町内会からの要望が処理しきれなくなってきたこと。また、個人的な要望というか、苦情というか、とかく自治会を困らせようというふうな投書等が目立ち、自治会活動が非常にむづかしくなってきたこと。その原因が年間二百八十万円程度の予算では道路を拓くす

の簡易補装をやればそれで済んでしまふ。この中で、各々の事業を押し進めてゆくための役員も馬鹿にはならない。連絡のやりとりには、自治会費、あるいは、自治会業務のために何回も勤めを休むこと等、多かれ少なかれ役員になったために、私利私欲の犠牲も馬鹿にはならないのだ。こうした場合、自治会にかは別にして、自治会に

対する要望等の多くなってきたことはひととおりではない。

さて、役員選出は、というところ、会では役員選挙会等によって行なうてきたものですが、すでに本紙第二十七号によっておしらせしたとおり、自治会会則の一部変更によって、今年から組長を中心として役員選出を行なうことになりました。これにより、組と自治会のつながりを強くすることにしました。

まず、新しい組長によって地区の評議員を選出、組長と評議員によって地区会長を、さらに地区会長によって自治会長を選出する。この一つの系統だつた役員選出方法を、取り入れたわけで、その活動におおいに期待されることになったものです。

この四月から、香川の消防分団が甘沼分団と統合されることになった。

これは、市の消防本部が中心となって、市内全域に設けられていた消防分団を整理統合することによって地域の消防活動を容易にするのを目的に行なわれたものです。

現在、市内には三十三分団、五百余の団員によって消防活動が行なわれていたが、分団によっては団員が多すぎ、その団員確保のむづかしさがあること、また、機械化によって消防力が強化されたこと

消防分団が甘沼と合併

と等が、消防分団の合併に結びついてきたものであります。何よりも税外負担を軽減させることに消防分団の合併を促進したようです。

また、市の消防本部では、昭和五十年を目標に、火葬場附近に消防分団を設ける計画を、もほのめかしているが、実現まではいろいろの問題を解決しなければならぬであろう。予算確保、用地の買収、市議会の議決等、これ

が促進のためには、私たち自治会としてもかなりの働きを市当局にしなければならぬと、思っています。

さて、消防分団の合併によって、香川分団も一応形式的な解散をみることにした。この自治会として次の方々に感謝状を送ることになりました。

熊沢義夫、亀井重雄、小野健、石井茂、中川、岡本真雄、山口清、三木茂、熊沢功、沼上宏、河合繁美、綿引由男、古宮進、新倉勇、熊沢義三、蔵

空巣や
こぞどろ
に注意
しましよ

視てある句 (T・F)

- 俄雨自転車置場のほしい駅 (みてのとおり)
- 相模線社交花咲く待ち時間 (復線になるのはいつ)
- 駅員の仏頂面を覗く (全員ではありません)
- ストープより囲炉裏が似合う公民館 (あれではね)
- 白鷺の田に空缶のこかさそう (子供ではなさそう)
- すれ違う車がこする垣の梅 (狭い通路)
- 着ぶくれて夜道の汚水足とられ (下水不足)
- 火事のもと枯草山はだれのもの (吸殻はご容赦)
- 買い喰いが、日向に並ぶ下校時 (それ先生どうしるを向け)
- 市の予算簿も議員も風邪を引く (頼りにして)
- 人びとの善意ふくらむ駅花壇 (お手入れは)

春休みに多い 子供の交通事故

ついこの間まで、おとうさんがお勤めに出るまで、台所から洗たくの干し場まで、お母さんの腰にまとわりついてたお子さんが、新しいランドセルを背負って学校へ出かけます。とかく過保護になりがちだつたお母さんも、これまで幾日か言って聞かせた甲斐があつて、ひとり元氣よく家を出るようになり、したが、そうなるにつれて、学校の行き帰りが心配です。

まもなく「春の交通安全運動」が始まります。日本人の平均余命がいくら延びても、交通事故で亡くなる人の数は毎年記録を更新します。中でも子どもの交通事故は悲惨なものです。

相手が暴走車なら避けられませんが、普通に道路を歩いていて事故にあふことは減多にありません。どこかに無理があるからです。

たとえば横断歩道まで行ってから渡れば安全なのに、途中で斜めに渡るの腰にまとわりついて急いで車と車の間をすりぬけようとして、うまくぬけられなかった途端に反対側からきた車にぶつかると、こういつたケースが非常に多いものです。

道路を横切るときは、必ず左右をみて、左もよみて安全を確かめてから渡るように注意しましょう。

統計によると、子どもの交通事故のほとんど多い時期は、春休みと夏休みの期間です。普段、登下校時における事故は全体からみるとわずかなもので、そのほとんどがいったん家に帰ってから、事故が多くなるのです。

まもなく子どもたちにとっての楽しい春休みとなりますが、くれぐれも交通事故にあわないよう注意してあげてください。

3月のこよみ

- 2日 東京、銀座の三井銀行新橋支店に白昼三人組の強盗、五十七万円を奪って逃げたが二人は通行人に捕まり残り一人は翌日横浜で逮捕された。(昭45)
- 3日 米国、三人乗り宇宙船アポロ打上げ
- 同日、月着陸船実験に成功、13日太平洋上に着水。(昭45)
- 4日 ハワイ出身の高見山大五郎、外国人初関取、十両となる。(昭42)
- ▲福岡地裁「博多駅事件」の付審判審理に必要な証拠物件としてTNCテレビ西日本など九州のテレビ四社が撮影した「博多駅事件」関係のフィルムを差押えた。(昭42)
- 9日 世界十三カ国、約四十八人の社会学者集り、東京で公害問題シンポジウム開催、同日公害問題解決のため協力しようとして東京宣言を発表。(昭45)
- 10日 気象庁、富士山頂気象レーダー運転開始。(昭40)
- 11日 世界最大の旅客機、ジャンボジェット機が日本への一番機として羽田空港へ着陸。(昭45)
- 12日 最高裁、公務員の政治活動制限を合憲と判決。(昭33)
- 13日 東京、武蔵野市議会議、第四子以下に月額千円を給する初の児童福祉手当条例を可決。(昭42)
- 14日 神近市子、映画「エロス十虐殺」は、
- 2日 東京、銀座の三井銀行新橋支店に白昼名譽棄損と上映禁止の仮処分を申請したが、東京地裁「描かれた事件は公知のもの」と申請を却下。(昭45)
- ▲アジアで初の日本万国博の開会式が行なわれた。(昭45)
- 15日 日本万国博一般公開の初日入場者は、コンピューターの予想では五十三万人だったが、実際は二十七万人と意外な低調(昭45)
- 17日 スポーツ振興国會議員懇談会、プロ野球界の黒い霧問題につき「プロ野球健全化公聴会」を開く。衆院法務委員翌十八日参考人としてプロ野球コミッショナーを参考人として呼び追及。(昭45)
- 20日 東京国立博物館を上野動物園開く(明15)
- 22日 東京放送局(NHK)本放送を開始(14)
- 26日 万国博会場内の動く歩道で約五百人の乗客が将棋倒し、四十二人が重傷(昭45)
- 27日 厚生省、富山県神通川流域で発生しているイタイイタイ病は三井金属神岡鉱業所から排出のカドミウムが主体と最終報告(昭43)
- 28日 政府、沖縄の米軍基地の解雇労働者千二百三十七人に対し、特別給付金の形で一人平均十五万八千五百円の見舞金を支払うことを決定。(昭45)

これだけは身につけさせたい

新入学

お子さんをお持ちの家庭では、受験、進学、卒業、就職などこの三月は一段と気ぜわしいものです。気候も変わり目に当り、急に暖かくなったり、寒さがぶり返したりして、とくからだに体調をおこしやす季節です。

とくに、新入学の子どものいる家庭では、これまでの幼稚園とちがって、ダダを受け入れられ甘やかせてばかりはいられません。おともだちと早く馴染み学校生活に馴れるようにはげましてやりましょう。

とかく、勉強にばかり神経質なおかあさん

新学期

新入学の子どもたちには、学用品の全部とはいわなくてもほとんども新しい物を買って揃えているようですが、進級の子どもたちですと教科書とせいぜい帳面ぐらゐが新しくなる程度です。鉛筆や筆入れとはいかなくても、やはり、学年が変わったころあゝいを見はからって「こんどは〇年生になったのね、学校でもおにいさんになったのだから……」と、シタジ

季節の話題

三月を古い呼び名で、弥生といひます。草木がいやが上に生えることを「いやおひ」といふことか。からでできた言葉でしようか。寒さはもう峠を越した

じこのもとをつくったのはだれ

町田 香

「チユン、チユン、チユン」すずめの鳴声きといつしよに、冷たい風がふいている朝。(さむいなあ。でも、もうすぐ学校)

友だち二人といっしょにさむい道の中を話しながら歩いてきた。人はあまり通らず、しーんと静かだ。聞こえるのは、私たちが話した声と、むこうで走る電車の音だけ。

そのとき、とつぜん「ピュリッピュリッ、ピュリッ」と、ものすごい音がし

キヤケシゴムなど新しいものを用意してやつてそれとなくはげましのことをかけてやってみてはどうでしょう。義務教育期間中は、よほどの理由がないかぎり「留年」はありませぬ。クラスの組み替えのない場合もありま

とはいえ、裏日本ではまだ雪が降っています。表日本では、風の強い日も多いかわりに雨量は急

植物の季節

三月の声を聞くと、冬の間つづいていた西高東低の気圧配置もくずれだ

のとき、ふとこんなことを考えた。たしかに、氷があるかないかよく見な

よりよい香川の街づくりを

氷の張っている路上は、香川でもよく見かけます。おとなが何気なしにした小さな行為、或いは不注意が、ある朝の出来ごと

村田英雄シヨ一

にご招待(商興会)

香川商興会では、みなさんのご要望にこたえて、次の要領によって観劇会を開催します。

お早目にお申し込みください。

※ サービス券千五百枚(台紙十五枚分)

※ 昼食、福引き、お土産付き

※ デラックス観光バス使用

お申し込みは四月十五日までに各加盟店にお申し込み順百名さままで。

香川商興会

正副会長

きままる

香川商興会では、このたび昭和四十八年の役員として次の方がたを選出しました。

▲会長 香川クリートン店、折毛五郎 ▲副会長 たかぎ薬局、高木正春 ▲副会長(会計) 三河屋菓子店 河合繁美。

訃報

次の方がたがお亡くなりになりましたので、つしんでご報告します。

生川良雄さん(第一町内会二十三組) 安藤熊吉さん(第二町内会三組) 久保田豊次さん(第一町内会十五組)

おわび

一月号の「香川ニュース」の記事中、岩片さんより寄せていただいた「もういくつねるとお正月」中、脱行のあったこと、また、鳥生芳行さんから寄せられた「国民年金に寄せて」の内容にも脱行のあったことを深くおわびいたします。

茅花会投句集

犬ふぐり地の息づかい靴底に 藤村球子
暖かや寒梅の足 衰えず 亀井隆義
七草や 漸く動く町の貌
どんどの火いつ迄つきぬ語りかな 柳田ふじ子
どんどの火夕焼空を染めにけり
北窓をあけて見る町違う貌
やわらかき 心となりて桜餅
残雪を飛びくる子等の叫びかな 井上喜枝
北窓を開けばそこに緑かな
幾年の銀杏が語る実朝忌
残雪をとろとろどこに貨車の過ぐ 長島久江
鍵っ子へ手紙も添えて桜餅
どんどの火背に手渡さる茶碗酒 湘南先生
鎌倉は佳人の都実朝忌
玉露汲む老の和みやさくら餅
金婚の二人睦まじきくら餅
北窓を開きテレビの向き替える
残雪の富士画くべく画布伸ばす 沓沢みや
桜餅幾年ぶりに訪う恩師
北窓をあけて明かるき新居かな
一椀を母に供えりなづな粥 裕百合子
餅花の十日のほこり溜めており
初雪や会話を得たり老夫婦
歳月の汚染寒々やじゃがたら文